



# トライ おだわら TRYプラン

平成22年度地域づくり総務大臣表彰 受賞



概要版

市民の力で  
未来を拓く  
希望のまち





## 目次

- 総合計画の概要 … 1
- 基本構想
  - 基本理念 … 3
- 計画の体系 … 5
- 基本計画
  - 未来への投資(先導的施策) … 7
  - 政策分野 福祉・医療 … 9
  - 暮らしと防災・防犯 … 10
  - 子育て・教育 … 11
  - 地域経済 … 12
  - 歴史・文化 … 13
  - 自然環境 … 14
  - 都市基盤 … 15
  - 市民自治・地域経営 … 16
- 地域別計画 … 17

## 総合計画の役割

おだわら<sup>トライ</sup>プラン(第5次小田原市総合計画)は、豊かな資源に恵まれ、さまざまな可能性に満ちあふれた小田原の地で、緩やかな経済成長と人口減少の時代においても、向こう50年、100年と歩みを続けていくことのできる地域モデルをつくる道筋を明確にし、その実現に向けて市民と行政が目標を共有して共に取り組んでいくための計画です。

## 総合計画の構成と期間

総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画で構成し、地区自治会連合会の区域ごとに作成した地域別計画と一対で本市のまちづくりを進めていきます。

### 総合計画

#### 基本構想

まちづくりにおける基本理念や目標と、これを実現するための政策の方向を示しています。

【計画期間】 平成23年度(2011)～34年度(2022)

#### 基本計画

将来都市像の実現と目標の達成に向けたまちづくりの施策の方向を体系的に示しています。

【計画期間】 平成23年度(2011)～28年度(2016)

#### 実施計画

基本計画に基づき、実施する事業を具体的に示しています。

【計画期間】 平成23年度(2011)～25年度(2013)  
社会情勢・財政状況の変化により見直し

### 地域別計画

地域の目指す姿の実現に向け、地域が抱える課題の解決や地域資源を最大限活用した取組などを示しています。

## 総合計画の策定プロセス

総合計画の策定にあたっては、新たな市民参画手法である無作為抽出による市民討議「おだわらTRYフォーラム」や、地域住民による地域別計画づくりのプロセスを取り入れ、持続可能な市民自治の実現に向けた市民と行政の協働の土台づくりとなる取組を進めてきました。また、より多くの職員が主体的に計画づくりに関与するため、組織・役職を越えたオープンな対話のプロセスを取り入れるなど、市民・職員双方でポジティブ(ホールシステム)・アプローチ(\*1)を実践してきました。

このような取組は、持続可能な市民自治のためにサイレントマジョリティの力を発揮するシステムの一例を示した点やその成果を総合計画に反映する実質的なものとなっている点、職員の意識改革、市民の積極的な実践を可能としている点などが高く評価され、平成22年度地域づくり総務大臣表彰を受賞しました。

### 地域別計画の策定

住民が主体となったまちづくりを目指すため、25の地区自治会連合会の区域ごとに、地域の皆さんが話しあい、知恵を出しあって、地域の将来像や自ら取り組む活動などをまとめました。自治会役員を中心に地域に関わりの深い各種団体役員など、約750人の方の参画により作業が行われました。



### おだわらTRYフォーラム

サイレントマジョリティの声を掘り起こすため、無作為抽出で選ばれた市民による討議会を開催する新しい市民参画手法を導入しました。3,000人に招待状を出し、200人の方に参加承諾をいただきました。8分野63テーマについて生活者の視点からアイデアを出していただきました。



### 職員の主体的な関与

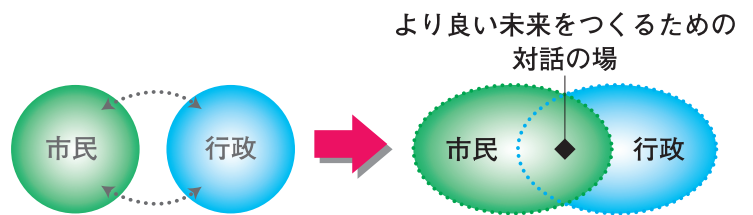
シナリオ・プランニングでは、本市が歩む可能性があるプロセスを施策ごとに複数のストーリーとして描くなど、多くの職員が担当の枠を越えて対話し、視野を広げて計画づくりに携わりました。さらに、垣根のないオープンで自由な対話の場(オープン・スペース・ミーティング)を設け、多くの職員が小田原の未来を探求しました。



## 総合計画の推進

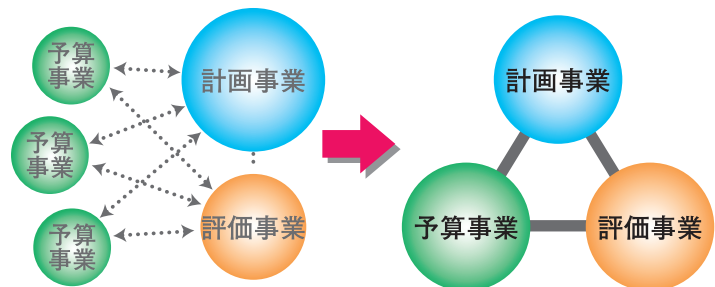
### 市民と行政による創発の場づくり

総合計画の策定プロセスにおける市民と行政との協働の土台づくりを進化させ、より多くの、そしてより多様な市民と行政がより良い未来をつくるために対話する場を設け、計画を推進します。



### 計画・予算・評価が連動したPDCAサイクル

事業がどのような目的で何を目指しているのか(計画)、どれくらいの予算か(予算)、どのような状態が実現したのか(評価)を分かりやすくするため、計画・予算・評価における事業を統一化しました。この事業をもとにしたPDCAサイクル(\*2)により計画を推進します。



(\*1) ポジティブ(ホールシステム)・アプローチ  
人や組織が有する強み・価値・希望・理想といったプラスのエネルギーを生かして素晴らしい未来を実現するため、自分や自組織の最大の可能性としてのありたい姿を描く。そして、そのありたい姿と現実的な達成状況を共有することによって新たな取組を導き出していく。

(\*2) PDCAサイクル  
PLAN(計画)、DO(実行)、CHECK(評価)、ACTION(改善)の4段階を順次行い、らせんを描くように1周ごとにサイクルを向上させることで、事業の継続的な改善や進化を図っていく。



# 基本理念

## 1 恵まれた条件

私たちのまち小田原は、山、森、川、田園、海などあらゆる自然環境を備えています。そして、温暖な気候と豊かな自然が生み出す大地の恵みは私たちの生存を支えています。

本市は、首都圏に位置しながら富士箱根伊豆方面に開かれ、交通至便性にも優れており、商業集積地から豊かな自然に囲まれた農村地帯まで地域の表情は多様性に富んでいます。そして、小田原城を中心とする城下町・宿場町としての顔や、多数の政財界人が別邸を構えた地としての顔を持ち、長い歴史のなかで育まれた多彩な文化、なりわいなどは全国に誇りうる市民共有の財産です。

こうした背景から、小田原を舞台にしたさまざまな物語が生まれ、交流人口を獲得するうえでは国内でも屈指というべき多くの条件に恵まれています。

## 2 厳しい社会情勢と山積する地域課題

明治以来の第三の転換期といわれる現在、自然環境の悪化、人口減少や少子高齢化、景気の低迷と産業の空洞化、雇用の不安定化、社会的格差の拡大、国や地方の財政悪化などにより経済情勢や社会構造が大きく変転し、従来の考えや手法の延長線上にわが国の未来を描くことが難しくなっています。

また、私たちが暮らしている小田原にも、福祉制度や医療体制に関わる不安、未来を担う子どもたちを取り巻く諸問題の深刻化、地域経済の低迷、中心市街地のにぎわいの喪失、水源となる山林の荒廃、身近なコミュニティの衰退と担い手不足など解決しなくてはならないさまざまな課題が山積しています。

このようななか、私たちは未来に対して閉塞感を持ち、ともすれば豊かな地域資源に裏打ちされた小田原の無限の可能性を忘れ、郷土への誇りや希望、まちづくりへの意欲を失いかねない状況にあります。

## 3 新しい小田原へ3つの命題

愛する郷土・小田原をより美しくより活気にあふれたまちにしたい、家族や友人たちと健やかに暮らしたい、と市民誰もが思っています。今を生きる私たちには、この地で育ち未来を担う次世代のために、より豊かなまちとして守り、つくり、育てる使命があります。そして、市民が力を合わせて新たな取組に挑戦することが、今日の厳しい局面を乗り越え、市民の思いや願いを形にする最も確かな道です。

未曾有の困難に直面する今こそ、新しい小田原へと進化していく機会と捉え、まちづくりに関わるすべての人々が共に知恵を絞り、共に汗をかきながら目の前の課題を克服し、より豊かな未来へとつなげる時です。

この歩みを進めるうえで、私たちがしっかりと意識すべき命題が3つあります。

### 新しい公共をつくる

第一は、「新しい公共をつくる」ということです。現在、国は権限と財源の地方への移譲を進め、地域のことは住民自らが責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会の実現を目指しています。本市においても、自分の暮らしや地域を自らがつくり出すことで郷土愛や地域コミュニティが醸成され、それが次世代へと受け継がれていく地域社会を築く必要があります。

これまで、公共的機能の大部分を行政が主体となって担ってきましたが、社会構造が複雑化するなか、さまざまな市民ニーズに的確に対応するためには、市民や市民団体、地域に根ざした企業など地域に関わるすべての人々が課題解決の当事者として知恵と力を発揮する必要があります。市民の力・地域の力を核として、住民福祉増進の中心的な主体である行政との協働を育てながら、さまざまな公共的機能を市全体として担うことのできる新しい公共をつくる必要があります。

### 豊かな地域資源を生かしきる

第二に、「豊かな地域資源を生かしきる」ということです。本市では、先人から受け継がれてきた素晴らしい財産を地域の誇りとして守り、各地でさまざまな取組が行われてきました。しかし私たちは、あまりに身近なところに豊かな地域資源が存在しているがゆえに、その価値を意識したり、感謝をしたり、磨きをかけたり、さらにはより豊かにして次世代へと手渡す努力をしたりすることが十分であったか考える必要があります。私たちの足元には、産業、文化、自然、まちなみ、市民活動、郷土愛、人を思いやる心など可能性に満ちた多様な資源があります。それらを徹底し





て形にすることで、私たちは未来への希望と活力を手にすることができます。そして、人と人、人と地域資源、あるいは地域資源同士が連携することで新たな小田原の価値を生み出し、地域の発展へとつながっていきます。

### 未来に向かって持続可能である

第三は、「未来に向かって持続可能である」ということです。私たちがつくり上げる地域の営みが、自然環境を損ねることなく、むしろ健やかに守り育てながら続いていく。また、私たちの経済活動が、小田原が有するさまざまな資源をより豊かに育て、人や技を育みながら循環していく。そして、私たちのいのちと暮らしを支えるさまざまな活動が、その担い手をしっかり育て、つながりや支えあいにより確かに受け継がれていく。このような、環境面、経済面、社会面での持続可能性があってこそ、より豊かに成長しながら受け継がれていく地域の営みとなります。

## 4 実現する将来都市像

新しい小田原への3つの命題に取り組むことで、市民生活に関わる身近な課題の解決が進むとともに、これまで眠っていた多彩な地域資源が花開き、地域の魅力と活力が高まります。これによって、市民のなかに安心が生まれ、小田原に対する自信や誇り、そして希望が育ちます。

私たちが描く未来の小田原は、市民一人ひとりのいのちが大切にされ、生きる喜びを実感しながら地域社会で暮らし続けることができる市民自治のまちです。

私たちは、歴史の連なりのなかで先人が培い、磨き上げてきた小田原固有の文化やものづくりの技術をしっかりと受け継ぎ、次代へと継承していきます。また、地域に根ざした産業の振興を図り、新たな価値を創造することで、地域経済に希望と活力があふれます。

自然、歴史、都市機能が調和した豊かな生活基盤を整えることで、快適で利便性の高い暮らしや経済活動が営まれます。

そして、活気に満ちた住みよいまちで市民が主役となっていきいきと暮らしていることは、来訪者にとっても大きな魅力となり、交流人口が拡大し、さらには定住人口の増加へとつながることが期待できます。

わが国が人口減少社会に入ったなか、住みよい・訪れてよいまちづくりを進めることにより、20万都市を堅持することを目標に掲げます。そして、市民の力・地域の力を核とした新しい公共により、小田原の豊かな地域資源を十全に生かしながら、持続可能なまちづくりを進め、「市民の力で未来を拓く希望のまち」をつくります。

## 5 まちづくりの目標

将来都市像を実現するために、4つのまちづくりの目標を定め、総合的かつ計画的なまちづくりを進めます。

### いのちを大切にす小田原

地域での支えあいを大切に育て、地域医療体制の充実を図るとともに、福祉と医療が連携した包括的なケア体制をつくることにより、生涯を通じ安心していきいきと暮らすことのできるまちを目指します。また、子どもを産み育てる環境をしっかりと整え、未来を担う子どもたちが地域で見守られながら健やかに成長できるまちを目指します。

### 希望と活力あふれる小田原

恵まれた自然環境を生かした農林水産業や、優れた技術を誇るものづくり産業を地域全体で支え、歴史と文化のなかで育まれた多様かつ活発な市民活動を支援します。そうした営みが形づくる魅力を市内外に発信することで、多くの交流人口を獲得するとともに、地域に根ざした経済が循環する活気に満ちたまちを目指します。

### 豊かな生活基盤のある小田原

市民生活を豊かに包む小田原の自然を守り育てることにより、生活環境に潤いと安らぎのあふれるまちを目指します。また、交通の結節点、観光振興の拠点、県西地域の商業拠点、神奈川県西の玄関口としての都市機能と利便性を高めるとともに、歴史的景観に配慮した風格のあるまちを目指します。

### 市民が主役の小田原

市民の基礎生活圏である地域コミュニティを基本として、地域の課題を地域自らが解決できるような市民の力や地域の力を醸成していきます。そして、市民と行政との信頼関係に基づいた協働型のまちづくりや地域運営、開かれた行財政運営を進めることで、市民の考えや願いがしっかりと市政運営に反映されるまちを目指します。



基本構想

まちづくりの目標

政策分野

基本計画

施策

実現する将来都市像

「新しい小田原」への3つの命題に取り組むことにより形づくられる将来都市像を定めています。この将来都市像の実現に向けて計画体系を構成しています。

市民の力で  
未来を拓く  
希望のまち

新しい小田原へ3つの命題

大転換期であり未曾有の困難といわれる今、「新しい小田原」への歩みを着実に進めるうえで、しっかりと意識すべき3つの命題を定めています。

- 新しい公共をつくる
- 豊かな地域資源を生かす
- 未来に向かって持続可能である

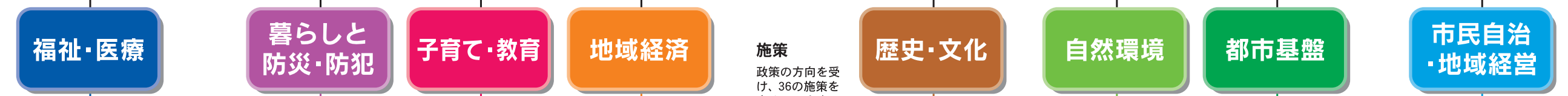
まちづくりの目標

将来都市像を実現するために、4つのまちづくりの目標を定めています。



政策分野

まちづくりの目標を受け、8分野の政策の方向を定めています。



施策

政策の方向を受け、36の施策を定めています。



\*線の色は該当する先導的施策を、線の太さは先導的施策との関係の強さを表しています。

未来への投資(先導的施策)

未来の小田原の土台づくりの視点から、貢献度や波及効果が大きく期待できる施策を6つの施策群として定めています。

未来を担う  
子どもを  
育む

ものを  
生み出す力を  
育てる

文化力を  
高める

自然環境を  
再生する

都市の顔を  
つくる

地域の  
つながりを  
再生する



# 未来への投資 (先導的施策)

将来都市像の実現に向け、基本計画に掲げる施策のうち、貢献度や波及効果が大きく期待できる施策群を未来への投資(先導的施策)として位置付け、基本計画全体を先導し、各施策を有機的に連携させながら事業を進めます。

## 未来を担う子どもを育む

すべての子どもが、家庭や地域において豊かな愛情に包まれながら、夢と希望を抱き、個性豊かにたくましく育つことは、小田原の明るい未来をつくるうえで何より大切なことです。

そこで、地域コミュニティを基礎に子育てのネットワーク化を図り、地域ぐるみで子育てに取り組むとともに、小田原ならではの豊かな地域資源を生かした教育を進めます。そして、子どもたちが健康でいきいきと育ち、ふるさと小田原に誇りと愛着を持って成長できる社会をつくりまします。

### 主な取組

- 安心して楽しく子育てができる環境づくり
- 地域ぐるみで子育てに取り組む体制づくり
- 子どもの可能性を伸ばす教育環境の整備



## 自然環境を再生する

小田原の豊かな自然環境は、清浄な水や空気をつくって私たちの生存を支え、同時に多様な生態系を維持する基盤であるとともに、地域の経済を担う農林水産業の生産基盤でもあります。また、市街地や郊外など私たちの身近な生活空間にある里山や鎮守の森、川や海の水辺、農地や生垣なども私たちの暮らしを潤し、魅力ある都市空間をつくり、市民生活の心身の健康を支えています。

そこで、私たちのいのちを健やかに養い、暮らしの潤いと安らぎをもたらす健全で恵み豊かな自然環境の保全と再生を図り、人と自然とが調和したまちづくりを進めることでまちの価値を高めます。

### 主な取組

- 市民協働による自然環境の保全と再生
- 緑とせせらぎのあふれる生活空間の創出



## ものを生み出す力を育てる

地域で生産された新鮮でおいしい農産物、広大な山林が生産する豊富な木材、相模湾から水揚げされる新鮮な水産物、そしてこのような素材の加工技術、あるいは卓越した技によりものをつくり出す事業者や職人の存在など、小田原には付加価値の高い地域経済の構造をつくるうえで必須な素材生産の現場があり、高度な加工技術や製造能力を数多く擁しています。

そこで、耕作放棄地の解消による生産面積の拡大や多様な担い手の育成、広大な面積を占める山林資源の最大限の活用、そして、ものづくり分野における新規参入の促進や後継者の育成、技術継承への支援など、素材から製造までの一連の生産力を育て、地域に根を張った安定感のある地域経済を確立します。

### 主な取組

- 地場農林水産物の高付加価値化による地産地消の推進
- 地域の特性を生かした活性化策の推進
- ものづくり分野の活性化支援



## 文化力を高める

成熟社会の到来を受け、市民一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう文化的環境を整えることが求められています。また、小田原が有する豊富な歴史文化資産の普遍的価値を再認識し、より魅力ある地域資源として磨き上げていくことが必要です。

そこで、芸術文化活動の取組を促し、文化を感受する喜びを広げ、創造する力を高めるとともに、市内外に広く小田原の文化の魅力を発信することで、まちを舞台にさまざまな交流を生み出します。

### 主な取組

- 芸術文化交流の拠点施設の整備
- 市民による芸術文化活動の促進
- 小田原ゆかりの文化の保存と活用



## 都市の顔をつくる

小田原駅・小田原城周辺は、広域交流拠点としての都市機能、県西地域における消費拠点としての商業地、城下町としての歴史的まちなみ景観、また、それらを取り巻く海や緑、丘といった自然環境など、小田原の魅力が重層的に存在しています。このような特長を生かし、小田原でしか担えない役割をしっかりと果たしていくことが必要です。

そこで、中心市街地における都市機能の適正配置を進めるとともに、民間活力が発揮された取組を促すことで、交流と回遊が活発に行われるにぎわいのある中心市街地をつくりまします。

### 主な取組

- 小田原駅・小田原城周辺のまちづくり
- 中心市街地の活性化
- 回遊性の向上



## 地域のつながりを再生する

安全で安心して暮らせる環境をつくるためには、地域住民相互の支えあいと助け合いが必要であり、地域のつながりはますます重要となっています。

そこで、地域住民が地域の課題解決に向けて自主的、主体的に取り組むことができるよう、その仕組みを構築するとともに、個性にあふれた魅力ある地域づくりを支援します。

### 主な取組

- 地域の課題解決の場づくり
- 顔の見える地域づくり





# 福祉・医療

福祉施設や医療機関などの包括的なネットワークを構築し、地域福祉や地域医療を充実させることにより、市民が優しさに支えられながら元気で暮らせるまちをつくります。

## 施策体系

### 1 地域福祉の推進

- ① 地域における包括的な支援体制の充実
- ② 地域福祉活動の充実
- ③ セーフティネットの充実
- ④ 福祉の拠点づくりの推進

### 2 高齢者福祉の充実

- ① 生きがいくりと社会参加の促進
- ② 地域における高齢者支援体制の充実
- ③ 介護予防と生活支援サービスの充実
- ④ 介護保険事業の円滑な運営

### 3 障がい者福祉の充実

- ① 相談の場や情報提供の充実
- ② 障がい者の権利擁護の推進
- ③ 暮らしを支える福祉サービスの充実
- ④ 就労と社会参加の促進

### 4 健康づくりの推進

- ① 保健予防の充実
- ② 地域ぐるみの健康づくりの支援
- ③ 食育の推進

### 5 地域医療体制の充実

- ① 地域医療連携の推進
- ② 救急医療の充実
- ③ 在宅医療の充実
- ④ 人材育成の支援
- ⑤ 広域医療圏としての役割分担や機能連携の推進

### 6 市立病院の機能拡充と健全経営

- ① 医師・看護師の確保
- ② 高度医療の提供
- ③ 急性期医療の充実
- ④ 産科・小児科医療の確保と充実
- ⑤ 経営の効率化

## 目指す姿

## 基本方針

目指す姿

**地域での助けあいやセーフティネットに支えられ、誰もがいきいきと安心して暮らしています。**

制度的な枠組みを越え、地域、行政、事業者、ボランティアなどが連携し、地域全体で支えあうまちケアタウンづくりを進めます。また、安定した暮らしと健康を支える社会保障制度の適正な運用と充実を図ります。

目指す姿

**高齢者の介護予防意識が高まり、生きがいを持った元気な高齢者が地域に活力をもたらしています。介護や支援が必要となった高齢者も、住み慣れた地域で安心して暮らしています。**

高齢者の生きがいくりや社会参加を支援します。また、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう介護福祉サービスの充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めます。

目指す姿

**企業や地域社会が障がい者の就労や社会参加を積極的に受け入れています。障がい者が地域社会の一員として生きがいを持ち、必要とする支援を選択して、安心して暮らしています。**

企業、学校をはじめ地域全体にノーマライゼーションの理念を啓発します。また、障がい者の暮らしを支えるサービスや支援を拡充するとともに、就労や社会参加の促進など障がい者を地域で支える環境を整えます。

目指す姿

**市民一人ひとりが、健康への自覚と認識を深め、生涯にわたって元気に暮らしています。**

自分の健康は自分で守るという健康意識を高め、市民一人ひとりの心身の健康づくりを支援します。また、生涯を通じた総合的な保健・疾病予防対策を進めます。

目指す姿

**市民がかかりつけ医を持ち、医療機関の適正な利用が図られています。医療ニーズに応じて、誰もがいつでも適切な医療を受けることができます。**

医療機関の役割分担と連携を進めるとともに、医療に携わる人材の育成を支援し、地域医療体制の充実を図ります。

目指す姿

**高度で専門的な医療を安定的に提供することで地域医療を支え、市民の安心感を高めています。**

県西地域の基幹病院としての急性期医療及び高度医療を充実させます。また、病院の健全経営に努めます。



# 暮らしと防災・防犯

地震や火災などに強い安心して暮らせるまちをつくります。また、地域のつながりにより、災害時の被害が軽減されるとともに、犯罪が未然に防止され、安全に安心して暮らせるまちをつくります。



目指す姿

基本方針

施策体系

**誰もが尊重しあい、それぞれの多様性を認めあいながら、共にいきいきと暮らしています。**

すべての人が、互いの文化や人権を尊重し、認めあい、共に生きていく平和な地域社会を実現するための取組を進めます。

**住宅や公共施設の耐震化が進み、災害による被害が最小限に抑えられています。あらゆる危機に迅速に対応できるような市民と行政、または市民同士の協力体制が確立されています。**

防災関係機関、近隣市町、自主防災組織が共に連携しながら、迅速かつ計画的な危機管理・災害対策を実施し、災害に強いまちづくりを進めます。

**防火や救命などに関する自助・共助の取組により、火災や救急事故などによる被害が軽減されています。**

消防・救急体制を充実します。また、事業者や地域と連携しながら、市民の防火意識の高揚や救命技術の普及を図ります。

**防犯活動や交通安全活動を通じた地域の顔の見える関係づくりが、暮らしの安全・安心を支えています。**

多様な主体が連携し、地域の主体的な防犯活動や交通安全活動の充実を図ります。また、暮らしの相談体制の充実により、市民のトラブルや悩みの解決を支援します。

## 7 共生社会の実現

- ① 人権施策の推進
- ② 男女共同参画社会の実現
- ③ 平和施策の推進
- ④ 多文化共生の推進

## 8 災害に強いまちづくり

- ① 災害時即応体制の強化
- ② 地域防災力の強化
- ③ 災害被害軽減化の推進
- ④ 危機管理体制の強化

## 9 消防・救急体制の充実

- ① 火災予防の推進
- ② 消防・救助体制の充実と強化
- ③ 救急・救命体制の充実と強化

## 10 安全・安心の地域づくり

- ① 地域防犯体制づくりの支援
- ② 交通安全活動の充実
- ③ 暮らしの相談の充実

### 》 PICKUP

#### ケアタウン構想 モデル事業の取組



「ふらっとマロニエ」オープンの様子

社会的に支援を必要とする方を地域全体で支えるケアタウン構想のモデル事業が市内5地区で動き出しています。下府中地区では、地区社会福祉協議会を中心に誰でも立ち寄れる地域の居場所として「ふらっとマロニエ」を運営しています。

### 》 PICKUP

#### 地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進



「大窪地区防犯連絡会」の活動

「地域の安全は地域で守る」を基本に、多くの地域で自治会や市民ボランティアの方が自主防犯活動に取り組んでいます。大窪地区では、青パトでの防犯パトロール、高齢者を対象にした防犯教室、自転車盗難防止活動などに取り組んでいます。



# 子育て・教育

子育てに関するネットワークづくりや相談体制の強化など、子育て家庭を支援するための取組をいっそう充実させます。また、子どもたちが心豊かに学ぶことができる教育環境を整えます。そして、地域が一体となって子育てに関わることで、安心して子どもを産み育てることができるまちをつくりまします。



## 施策体系

### 11 子育て環境の充実

- ① 子育て家庭への支援の充実
- ② 子育て支援拠点の充実
- ③ 保育環境の整備
- ④ 母子保健・医療費助成の充実

### 12 青少年育成の推進

- ① スクールコミュニティの形成
- ② 青少年育成指導者層の形成
- ③ 体験・交流学习の充実
- ④ 若者の自立・更生支援の充実

### 13 学校教育の充実

- ① 「生きる力」を育む教育活動の推進
- ② 小田原の良さを生かした教育の推進
- ③ 家庭・地域と共に歩む教育の充実
- ④ きめ細かな教育体制の強化
- ⑤ 教育環境の整備

## 目指す姿

## 基本方針

目指す姿

さまざまなニーズに対応した子育て支援が充実するとともに、子どもたちが地域社会のなかで育まれていることで、地域に笑顔があふれています。

妊娠から子育てにいたるさまざまな支援サービスを充実し、家庭や地域社会が共に支えあい、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めます。

目指す姿

さまざまな体験などを通して世代を超えた新たなコミュニティが青少年を中心につくられるとともに、地域との関わりのなかで郷土を愛する心が生まれ、健やかにたくましく成長しています。

地域が一体となって青少年育成活動の充実やそれを支える人づくりに取り組み、健やかでたくましい青少年を育てていきます。

目指す姿

豊かな人間性と健やかな体、確かな学力を持った子どもたちが育ち、社会の一員としての自信と誇りを持ち、それぞれの未来を拓くために、たくましく生きています。

子どもたちの成長を、学校、家庭、地域が共に支えあい、自ら学び創る力、社会と関わる力を培い、思いやりの心を持った元気な子どもを育てます。

## ≫ PICKUP

### スクールコミュニティ モデル事業の取組



ボランティア団体「こどあそび一と」の活動

地域ぐるみで子どもを見守り育てるスクールコミュニティのモデル事業として子どもに関する活動情報紙の発行や地域の見守り拠点づくりが動き出しています。久野地区では、久野区民会館や原っぱで、昔遊びを覚えながら皆さんで遊ぶ活動を行っています。

## ≫ PICKUP

### 地産地消・農商工連携による活性化の取組



第2回全国井サミットおだわら2010

地産地消や農商工連携による地域資源を生かした活性化の取組が進められています。小田原で採れる食材と小田原漆器を用いた小田原どん、地場の生産物や加工品などの品揃えで市民や来訪者が楽しめるマルシェ(市場)などが展開されています。



# 地域経済

温暖な気候、肥よくな大地、豊かな水資源の恵みを生かした農林水産業の振興を図ります。また、歴史・文化の蓄積による特色ある資源や優れたものづくりの技術、さらには交通至便性の高い立地条件などを最大限に生かした産業振興を図り、多くの人を訪れる活力あるまちをつくりまします。



目指す姿

基本方針

施策体系

**ライフスタイルに合わせた多様な働き方があり、企業は経営環境の変化に対応した事業を展開しています。**

産業の活性化に向けた支援を行うとともに、働きやすい環境づくりを進めます。

**小田原固有のものづくりに支えられたなりわいが継承され、そこから生み出される製品などに市民が愛着と誇りを持っています。**

伝統的な地場産業の匠の技を継承していくとともに、優れたものづくり技術の情報発信や農商工連携によるブランド化の推進などを通じて、小田原固有のものづくりの付加価値を高めていきます。

**商店街が地域コミュニティの核としてにぎわい、そこで生活に必要なサービスが提供されています。中心市街地では多くの市民や来訪者の行き交う姿が見られ、にぎわいに満ちています。**

消費ニーズに柔軟に対応する力をさまざまな主体が共に育み、交流やにぎわい創出の取組を通じて、暮らしを支える商業機能を再生していきます。

**小田原の地域資源の魅力や地域の温かいもてなしにふれた多くの観光客が、何度も小田原を訪れています。**

小田原を観光で訪れる人々にとって魅力があり、市民が誇りを持つ地域資源を生かした観光まちづくりを進めます。

**安定した農業経営が確立され、耕作放棄地が減少するとともに、小田原の農産物を求めに多くの人を訪れ、交流施設や直売所ににぎわっています。地域の森林から良質な木材が産出され、暮らしのなかで木のぬくもりがあふれています。**

多様な担い手を確保、育成、支援し、耕作放棄地の復元も含め高付加価値農業を促進します。そして、豊かな地産地消を実現し、いのちあふれる小田原の都市ブランドを高めます。

**漁業者らが育てた好漁場から豊富な水揚げがあり、鮮魚や水産加工品の市場が活況を呈し、おいしい魚を求めて多くの来訪客でにぎわっています。**

新鮮な水産物が安定供給できるよう漁場のかん養・育成を進め、水揚げ・流通体制を適正に保つとともに、魚をたくさん食べる食文化の振興や多様な加工産業を支援していきます。

## 14 産業振興と就労環境の整備

- ① 働きやすい環境づくり
- ② 中小企業の経営支援
- ③ 起業家育成と創業支援
- ④ 多様な企業誘致と育成

## 15 小田原ならではのものづくりの振興

- ① 伝統的な地場産業の支援と育成
- ② 高技術・高品質のものづくりのPR促進
- ③ 新たなブランドの育成

## 16 商業の振興

- ① 暮らしを支える商店街の再生
- ② 地産地消と連動した商業振興
- ③ 中心市街地のにぎわいづくり
- ④ 新たなまちづくり計画と連携した商業振興

## 17 観光まちづくりの推進

- ① 観光資源の戦略的な情報発信
- ② 地域の観光資源をつなぐ取組の推進
- ③ 回遊性に配慮したもてなしの空間づくり
- ④ 広域観光の推進
- ⑤ 小田原城址公園の環境づくり

## 18 農林業の振興

- ① 多様な営農形態への支援と担い手の確保
- ② 生産基盤の強化と耕作放棄地の復元
- ③ 恵まれた条件を生かした地産地消の推進
- ④ 多角的な林産振興
- ⑤ 交流・体験による活性化

## 19 水産業の振興

- ① 漁場のかん養・育成と漁港整備
- ② 水産物の高付加価値化と担い手支援
- ③ 魚の消費拡大に向けた流通支援
- ④ 交流による小田原漁港周辺の活性化支援



# 歴史・文化

歴史や風土に培われながら継承されてきた史跡や伝統行事など多彩な歴史文化資産を小田原の貴重な財産として未来に引き継ぎます。また、郷土への愛着や誇りを育む市民の創造的な文化活動が活発化することで、さまざまな交流が生まれるまちをつくります。



## 施策体系

### 20 歴史資産の保存と活用

- ① 史跡小田原城跡などの整備
- ② 文化財の保存と活用
- ③ 重要資料展示施設の整備検討
- ④ 歴史都市としてのまちづくりの推進

### 21 文化・芸術の振興

- ① 市民文化創造の支援
- ② 芸術文化創造拠点の整備
- ③ 小田原ゆかりの文化の保存と活用
- ④ 文化交流の推進

### 22 生涯学習の振興

- ① 多様な学習の機会と情報の提供
- ② 郷土についての学びの推進
- ③ 学んだ成果を生かす環境づくり

### 23 生涯スポーツの振興

- ① スポーツに親しむ機会の充実
- ② 地域でのスポーツ活動の支援
- ③ スポーツ活動を支える環境づくり

#### 目指す姿

#### 基本方針

目指す姿

先人から受け継がれた小田原の歴史資産が、市民の誇りとなるとともに、多くの人を引きつけています。

小田原の貴重な地域資源である歴史資産の調査や保存、整備を進めるとともに、市民や来訪者が小田原の歴史を深く理解できるよう公開し、活用します。

目指す姿

芸術文化に対する意識が高まり、創造性豊かな市民の主体的な活動の裾野が広がっています。さまざまな分野で、国内外の地域や人々との交流や連携が活発に行われ、まちに活気を生み出しています。

小田原の芸術文化創造の拠点を整備します。そして、市民主体による芸術文化活動の裾野を広げるとともに、多様な文化交流を進めます。

目指す姿

郷土に誇りを持つ心豊かで多彩な人材が、さまざまな場で活躍しています。

市民による主体的な生涯学習活動を基本に、市民の生涯を通じた学ぶ意欲を支え、多様な学習の機会を提供します。また、学んだ成果を適切に生かすことができる環境を整えます。

目指す姿

子どもから高齢者まで多くの市民が、健康維持、趣味や生きがいづくりなど、それぞれの目的を持って日常的にスポーツに親しんでいます。

誰もがスポーツに関心や興味を持ち、スポーツに親しむ機会やきっかけをつくとともに、市民のスポーツ活動を支えるための仕組みや環境を整えます。

## ≫ PICKUP

### 歴史と伝統を守り育て、次世代に伝えていく



例大祭の神輿渡御

城下町・宿場町として栄えた小田原には、出桁造りの商家などの歴史的建造物、祭礼行事や伝統芸能、かまぼこ製造などのなりわいが受け継がれています。こうした歴史的資源を守り育て、次世代へ伝えていくための取組を進めています。

## ≫ PICKUP

### 北原白秋が愛した小田原



白秋童謡の散歩道「からたちの花の小径」

誰もが口ずさんだことのある「揺籠の歌」などの童謡。大正時代、小田原で過ごした北原白秋は、市内を散歩しながら多くの童謡を創作しました。こうした文学遺産などの歴史に育まれた小田原ゆかりの文化を守り伝える取組を進めています。



# 自然環境

暮らしに潤いと安らぎを与えてくれる豊かな自然環境を生活のなかで守り育てることにより、自然環境と人の営みが共生するまちをつくれます。



目指す姿

基本方針

施策体系

**地域ぐるみの環境再生・保全活動が活発になり、市民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践しています。**

身近な自然環境を次世代に引き継ぐため、市民の主体的な環境再生・保全活動を促し、持続可能な環境共生(循環・低炭素・自然共生)型の地域づくりを進めます。

**環境負荷の少ないライフスタイルが定着し、家庭や事業所から排出されるごみが少なくなっています。**

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、日常生活や経済活動において廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用などに努め、環境負荷の少ない持続可能な資源循環型社会づくりを進めます。

**まちには花と緑があふれ、いつもきれいで住みよい状態に保たれています。暮らしの衛生が守られ、市民は快適に生活しています。**

市民、事業者、行政とのパートナーシップにより、まちの美化や公園の維持管理を進めるとともに、良好な生活環境を保持するための取組を進めます。

**小田原の豊かな自然環境のなかで、あらゆるいのちが健やかに生き、人々は生存の基盤が守られ、お金に換えられない豊かさを享受しています。**

山、里、川、海など暮らしを支える豊かな自然環境や、そのつながりのなかで多様な生物が営む地域全体の生態系を守り、再生していきます。

## 24 環境再生・保全活動の推進

- ① エコシティとしての地域ブランドの確立
- ② 地域の環境再生・保全活動の推進
- ③ 環境学習・環境配慮行動の推進
- ④ 地球環境問題への取組の推進

## 25 廃棄物の減量化・資源化の推進

- ① ごみの減量化の推進
- ② 資源化の推進
- ③ ごみの適正処理

## 26 良好な生活環境の保全と形成

- ① 協働による美化の推進
- ② 良好な衛生環境の保持
- ③ 斎場の整備
- ④ 身近な緑と公園の整備

## 27 自然環境の保全と再生

- ① 森林の再生
- ② 里山の再生と整備
- ③ 水辺環境の整備促進
- ④ 生態系の維持保全

### ≫ PICKUP

#### 早川小学校林で森林体験学習



早川小学校林での森林体験学習の様子

山、里、川、海などあらゆる自然環境を備えた小田原には、環境教育のフィールドが身近にあります。早川小では学校林を活用し、地域の皆さんと一緒に森林体験学習に取り組んでおり、こうした地域での環境再生の取組を広げていきます。

### ≫ PICKUP

#### 生(いき)ごみ小田原プロジェクト



段ボールコンポスト

家庭から出るごみの約40%を占める「生ごみ」。これを堆肥化し、野菜や花などを育てることにより資源循環をつくるのが「生(いき)ごみ小田原プロジェクト」です。多くの家庭で、段ボールコンポストなどを使った堆肥づくりに取り組んでいます。





# 都市基盤

さまざまな交流を生み出し、産業が活性化するための都市基盤を整え、魅力的な都市空間を形成します。また、既存インフラを有効活用するとともに、市民生活を支えるライフラインを維持・強化することにより良好な市街地整備を進め、住む人にとっても、訪れる人にとっても快適で機能的なまちをつくりまします。

## 施策体系

### 28 快適で魅力ある生活空間づくり

- ① 計画的な土地利用の推進
- ② 景観形成の促進
- ③ 小田原駅・小田原城周辺のまちづくり
- ④ 快適に暮らせる住環境の形成

### 29 安全で円滑な地域交通の充実

- ① 誰もが移動しやすい交通環境づくり
- ② 円滑な道路交通の確保
- ③ 安全な生活道路の整備と維持管理

### 30 安定した水供給と適正な下水処理

- ① 安全で安心な水道水の安定供給
- ② 計画的で効率的な下水道の整備
- ③ 災害対策の推進
- ④ 経営効率の向上

## 目指す姿

## 基本方針

**市民が快適に暮らし、まちに愛着を持って住み続けたいと思っています。**

市民ニーズや人口減少、少子高齢化の動向を的確に捉え、快適で魅力ある生活空間づくりを進めます。

**計画的な道路整備と維持管理により、安全で円滑な道路交通が確保され、公共交通により誰もが便利に移動しています。**

公共交通、自動車、自転車、徒歩それぞれの交通手段がバランスよく連携し、誰もが移動しやすい交通体系を構築していきます。

**海や河川は水質のきれいな状態が保たれており、いつでもおいしい水が飲めます。**

安全・安心な水道水を安定供給するため、水道施設の計画的な維持更新を進めます。また、美しい川や海を守り、快適な生活環境を保持するため、下水道の計画的な整備を進めます。

## 》 PICKUP

### 地域と共に安心安全道づくりを実施



道路舗装や安全施設の整備

自治会と市が合同で地域安心安全道づくり懇談会を開催し、意見交換や現地調査を行い、緊急性の高い箇所の道路舗装や安全施設などを整備しています。この取組は、市域を6地域に分け、年度ごとに順次実施しています。

## 》 PICKUP

### 地域コミュニティの交流の場



どんど焼きの様子

市内各地域では、夏祭り、健民祭、どんど焼きなどの交流の場が引き継がれています。どんど焼きでは、子ども達によるお囃子の演奏、自治会の皆さんによる餅つき、大抽選会などが行われ、大勢の住民の方々でにぎわう地域もあります。



# 市民自治・地域経営

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という気運を高め、市民と行政とが情報を共有しながらそれぞれの役割に応じた取組を進めることで、市民の力や地域の力が十分発揮できる質の高いまちをつくります。



目指す姿

基本方針

施策体系

**地域において生じた課題を地域住民が協力しあって自主的に対応し解決しています。市民と行政とが対等の立場でそれぞれの役割と責任に応じ、連携してまちづくり活動を展開しています。**

政策立案段階からの市民参画を定着させるとともに、地域の課題を地域で解決する仕組みづくりを進めます。

**さまざまなテーマで活動する市民活動団体が連携しながら発展し、新しい公共の担い手として活躍しています。**

さまざまな分野における市民活動の活性化と市民活動団体間の新たなネットワークの形成を支援します。また、市民力をまちづくりに生かす市民と行政との協働を推進します。

**小田原で行われていることや小田原の魅力が、市内外の人に分かりやすく伝わっています。市内外で多様なコミュニケーションや交流が生まれるとともに、多くの市民が小田原市民としての誇りを持ちながら、まちづくりに関わっています。**

小田原のまちづくりに関するさまざまな情報や小田原の魅力を、市内外に分かりやすく多様な手段で発信します。また、市民が必要とする行政情報が容易に入手できる環境や、幅広い市民の声が行政に届く仕組みを整えます。

**行政資源が最適に配分され、多様な主体との連携により効率的で質の高い行政サービスが提供されています。**

市民との情報共有を進め、市民、行政、多様な主体の適切な役割分担による公共サービスの提供を促進します。また、行政活動の検証を通して行政資源の配分を最適化し、より効果的かつ効率的な行財政運営を行います。

**職員一人ひとりが、直面する課題について主体的に考え行動し、市民の最良のパートナーとして市民と共に新しい小田原の創造に取り組んでいます。**

新しい小田原の創造への熱い心を持つ人材を確保し、市民の最良のパートナーとなる人材として育成し、地域を担う人材として最大限の活用を図ります。

**地域特性のつながりにより、自然環境や産業、文化などの豊富な地域資源を生かしたさまざまな取組が市町の枠組みを越えて行われています。**

関係市町の緊密な連携により、高度化、複雑化する広域的な課題に的確に対応し、活力ある自立した地域圏の形成を目指します。

## 31 協働による地域経営

- ① 市民参画の仕組みの拡充
- ② 地域資源を生かした協働の推進
- ③ 地域コミュニティの強化
- ④ 地域別計画の促進

## 32 市民活動の促進

- ① 市民活動の支援
- ② 市民活動拠点の充実
- ③ 提案型協働事業の実施

## 33 情報共有の推進

- ① 情報の発信と提供
- ② 広聴の充実
- ③ 都市セールスの充実
- ④ ICT(情報通信技術)の活用

## 34 行財政改革の推進

- ① 行財政運営の進捗管理手法の確立
- ② 公共施設の最適化
- ③ 規律ある財政運営
- ④ 競争事業の今後に向けた検討の本格化
- ⑤ 地域主権時代を視野に入れた行政機能の強化

## 35 地域主権の時代における市職員の育成

- ① 人材の確保
- ② 人材の育成
- ③ 人材の活用

## 36 広域行政の推進

- ① 県西地域2市8町における広域行政の充実と強化
- ② S.K.Y.広域圏における連携の充実
- ③ 御殿場線沿線地域における連携の充実
- ④ 市町合併への対応



# 25の地域のキャッチフレーズ・めざす姿(将来像)

地域別計画は、①地域のキャッチフレーズ及びめざす姿(将来像)、②地域の今(現況)、③はじめの一步(住民自ら取り組むこと)により構成しています。①は、地域資源を活かし、課題を解決することにより実現される将来の姿です。



**久野**  
子育てにやさしい久野



**富水**  
水と緑  
みんながふれあうまち 富水



**桜井**  
尊徳の教えが  
生きているまち



**豊川**  
友愛のまち 豊川  
～相寄り相扶け～



**曾我**  
緑と歴史遺産を誇り、  
富士を仰ぐ長寿の里  
“曾我”



**上府中**  
上府中 みんなで起こそう  
地域の和



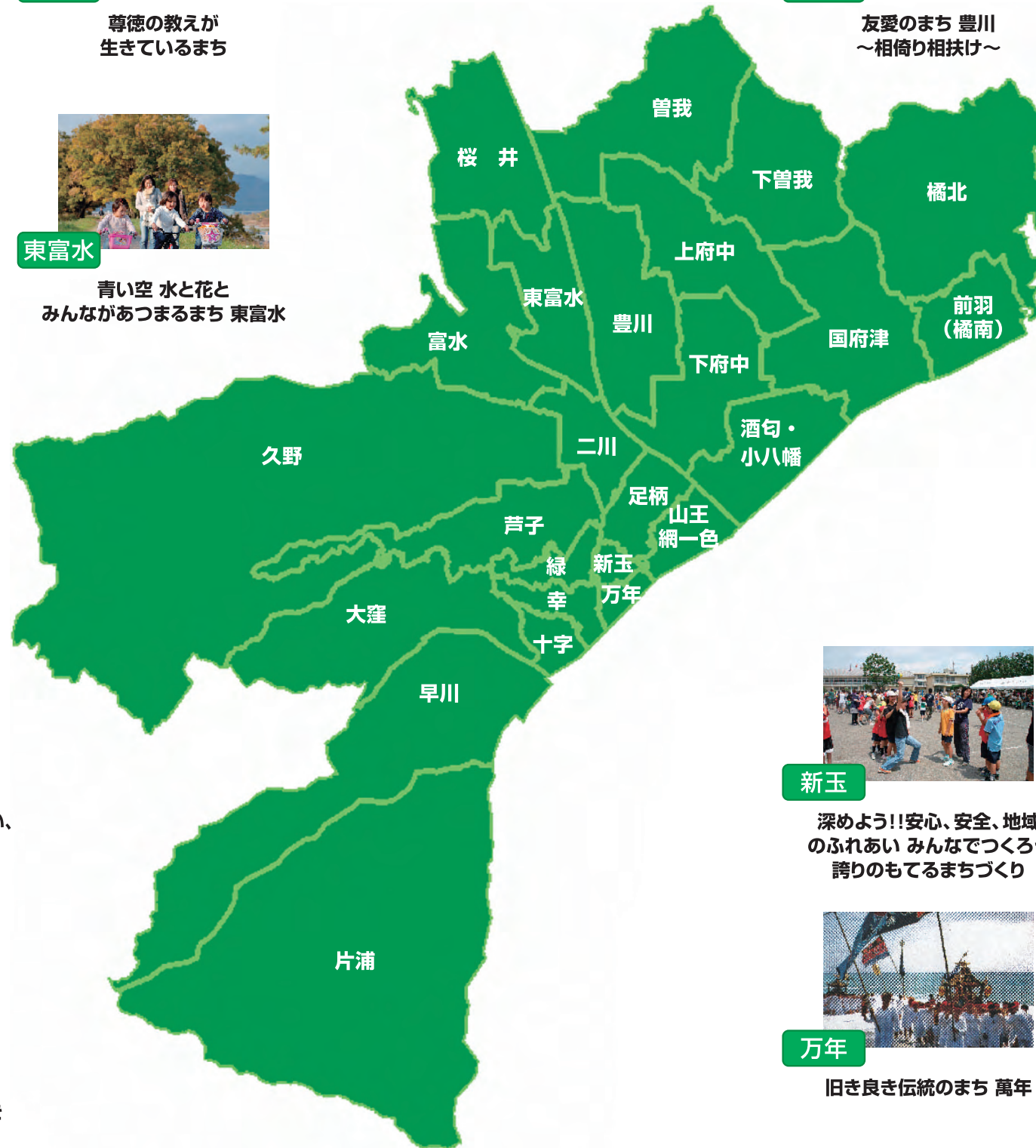
**芦子**  
人と伝統と発展が  
融合するまち 芦子



**二川**  
伝統が息づき、  
交流と活力のあるまち 二川



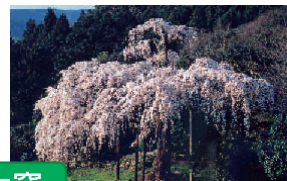
**東富水**  
青い空 水と花と  
みんながあつまるまち 東富水



**下曾我**  
梅かほる歴史の郷 下曾我



**橘北**  
歴史溢れる長寿の里  
たちばな北



**大窪**  
歴史と文化遺産が薫り、  
自然と環境に恵まれたまち  
大窪



**緑**  
小田原の“かお”  
歴史と文化のまち“緑”



**国府津**  
人と海と山の織りなす  
小田原の東玄関 国府津



**前羽(橘南)**  
海と山に囲まれ、昔の風情  
が残る住みよいまち 前羽



**早川**  
自然(海・山・川)の恵みを大切に!!  
笑顔で広げる人の“和”はやかわ



**幸**  
いつまでもこれからも住み続けたい、  
だれもが安心して暮らせる  
自然と歴史文化が調和したまち



**新玉**  
深めよう!!安心、安全、地域  
のふれあい みんなでつくり  
誇りのもてるまちづくり



**足柄**  
住んでみたい  
住んでよかった 足柄



**下府中**  
小田原の中核として発展し、  
みんな仲良く生き生きと  
暮らせる町、下府中



**片浦**  
海と山・四季の香り漂う 片浦



**十字**  
歴史と文化のいぶきの中で  
みんなで創ろう豊かなまちを



**万年**  
旧き良き伝統のまち 万年



**山王網一色**  
潮騒の香り地域づくり



**酒匂・小八幡**  
住んでいることに誇りがもて  
住みたくなるまち、  
酒匂・小八幡





## 第5次小田原市総合計画

おだわらTRYプラン 概要版 発行：小田原市 編集：企画部企画政策課  
〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪300 TEL.(0465)33-1255

再生紙を使用しています



環境にやさしい大豆油インキを使用しています